



## 本校児童の読書の実態

コロナ禍の巣ごもりで、長い間不況にあえいでいた出版業界が、思わぬ特需に湧いているとのニュースを以前耳にした記憶があります。「若者の活字離れ」も幾分解消されたのでしょうか。

さて、本校児童の読書の実態はどうでしょうか。

11月に実施した「1ヶ月に読んだ本の冊数」調査では、残念ながら2年生、3年生以外は県平均を下回りました。これは校長として大きな責任を感じています。保護者の方々からの「学校評価アンケート」においても、「読書習慣が身に付いていない」と回答された方が少なくありませんでした。

《 一人あたり1ヶ月に読んだ本の平均冊数（11月） 》



《 1ヶ月に読んだ本の冊数別人数 》

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全体
0冊	0	0	0	0	0	0	0
1冊	0	0	0	1	0	0	1
2冊	0	0	0	0	0	1	1
3冊	1	0	0	0	0	1	2
4冊	0	0	0	1	2	2	5
5冊	0	0	0	0	5	1	6
6冊	2	0	0	1	2	1	6
7冊	1	0	0	1	2	0	4
8冊以上	10	5	15	4	3	3	40

読書の効果については「言葉が増える」「新たな知識を得られる」「読解力、思考力が高まる」「想像力が高まる」「生き方のヒントが得られる」などたくさん挙げられますが、読書の楽しさを小さいうちに味わわせたいものです。

そこで、来年度の本校の重点目標に「読書習慣の定着」を掲げました。学校では読書指導にさらに力を入れ、また、ご家庭の皆様にも協力をお願いし、「週末家読（うちどく）」を実施したいと計画しています。ぜひ週末の家庭生活の中で、お子さんの読書をする時間を確保していただければと思います。ご家庭の方もその時間はお子さんと一緒に読書をするのもいいかもしれませんね。テレビ、ゲーム、ネット、動画から離れて読書をするれば、メディアコントロールにつながることも期待できます。

平成22年度に本校は「子ども読書活動優秀実践校文部科学大臣賞」を受賞しています。10年前の先輩に負けぬように、読書好きな子どもが数多いの学校にしていきたいと思ひます。

## 「通学路安全点検」を受けて



現在、国道6号線木崎横断歩道付近の道路補修工事を行っています。それに併せて歩道の縁石が新たに設置されましたのでご紹介します。関係者の方々に感謝申し上げます。

## 「卒業式」「入学式」について

非常に残念ですが、感染症対策のため卒業式、入学式の参列者を限定して実施することにしました。卒業生、新入生の他は、2つの式ともに、来賓はPTA会長様のみ、教職員、保護者、在校生は現5年生のみです。現1～4年生は、参加はしません。なお、2つの式ともに、会場での座席位置を変更し、体育館中央に演台、それを囲むように座席を配置しました。